

# 新しい左京区基本計画づくり



発行日 平成21年12月22日  
発行者 左京区役所区民部総務課  
Tel 771-4235

## ニュースレター 第6号

### 第3回 左京区 住民円卓会議 を開催しました！

11月26日にグランドプリンスホテル京都において、第3回左京区住民円卓会議を開催しました。会議には37名が参加し、5つのグループに分かれて、「まちづくりの自主的な取組について考えよう」をテーマにグループ討議を行いました。

今回の会議には、次代の左京まちづくり会議の宗田好史（むねた よしふみ）座長、深町加津枝（ふかまち かつえ）副座長、長谷川綏二（はせがわ しゅうじ）委員にも参加いただき、宗田座長、深町副座長から、



「左京区の魅力と課題について」と題して課題提起をしていただきました。

グループ討議の前半は、第2回の次代の左京まちづくり会議でも多くの意見が出た「美しい自然のまちづくり 自然環境」を共通テーマに、自然を守るためにできることを、区民ひとり一人や区民と行政の協働の視点を踏まえて、意見交換していただきました。

後半のテーマは、グループごとに希望の多いテーマを選んで話し合っていました。左京区の魅力・課題の中から、「子ども」、「高齢者」、「歩きやすいまち」、「伝統行事・伝統文化」、「自然との調和」が取り上げられ、地域での自主的な取組などについて意見を交換しました。

最後に各グループから討議内容を発表していただきました。他の地域の現状や課題、問題解決に向けた取組などがよくわかり、各地域での取組の参考になったのではないのでしょうか。

参加者の皆様には、限られた時間の中で活発な意見交換をしていただき、ありがとうございました。今後は、会議での御意見を踏まえ、次期左京区基本計画の素案を作成していきます。

#### プログラム

- 課題提起「左京区の魅力と課題について」  
次代の左京まちづくり会議  
・座長 宗田好史氏  
・副座長 深町加津枝氏
- グループ討議  
「まちづくりの自主的な取組を考えよう」
- 発表、座長のコメント

#### 宗田座長から



- 左京区の魅力は、自然である。特に秋の紅葉は大変美しく、京都にはたくさんの観光客が訪れる。歴史や文化にも恵まれているが、美しい自然が一番の魅力であり、区民の皆さんもこの自然に親しみ楽しんできた。
- 左京が誇る文化を次代に引き継ぐことが大きな課題である。そして、何を引き継ぐかという、まずは「こころ」であると思う。例えば、自然を愛でるこころ、歴史を知るこころ、文化を楽しむこころなど、左京の魅力をよく理解している人たちが子どもを育てなければならない。こころがあって初めて技や知識が生きてくる。こういったことを出発点にして、左京を誇りに思うとともに次世代に伝えていく。共感できる気持ちを大切にしながら、みなさんと一緒に取り組んでいきたい。

- 自然には山や川など様々な要素があるが、左京区の素晴らしいところは、自然を暮らしや生業の中で上手に使い、長い時間をかけて伝統や文化を作ってきたことである。
- 最近、山が荒れ、農業をする人も減っている。街中にも自然はあるが、関わりが薄くなっている。これだけ素晴らしい自然があるにも関わらず、経済的にも生かしていないし、生活との結びつきも薄くなっている。地域の自然や資源を単に物としてではなく、伝統的な知恵や技術も含めて、今後生かしていくことが大切である。



深町副座長から

南部グループ — 川東・吉田・岡崎・聖護院・錦林東山・浄楽・新洞

ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然環境

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【ゴミ対策】

- ゴミの分別を正しくする。
- 毎朝門掃きを心掛ける。
- 近隣の清掃をする。
- ゴミを減らす努力をする。
- エコ活動をする。
- 夏に打ち水をする。

- ゴミ収集の時間を早くして道にゴミを長時間置かない。
- 地域の清掃の日を定める。
- 観光道路を清掃する。（落ち葉回収、犬糞除去、散水等）
- 公園の落ち葉を集める。
- 街路樹の落ち葉対策を行う。
- カラス・トビを繁殖させない。

【緑化】

- 家に緑の木を植える。
- 各家庭で緑化を進める。

- 公共施設の緑化を進める。

【交通対策】

- 観光地への車の乗り入れを制限する。
- 交通整理を行う。
- 放置自転車の対策を行う。

【その他】

【住民意識の向上】

- 防災意識を高める。
- 住民意識を高める。

- 鴨川のホームレス対策をする。
- 公園のちびっこプール跡を砂場にすれば子供の良い教育ができる。

ワークシート

分野:

ひとにやさしい温もりのあるまちづくり

項目:

子ども

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【あいさつ・声かけ】

- 大きな声を出してあいさつする。
- 登下校時に常に声かけを行う。
- 朝のあいさつとして「おはよう」の声かけをする。
- 大人から進んであいさつをする。
- あいさつのできる子、相手の気持ちかわかる子を育てる。
- 核家族時代なので、老人と子どもの対話の機会を増やす。

【子どもの安全】

- 登下校の安全を確保する。
- 地域で見守る活動をする。
- 各町内で子ども 110 番の取組を進める。
- 安全パトロールを実施する。
- 登下校の道を点検する。
- 冬場は明かりを増やす。
- 地域の子どもは地域で守り、育む努力を心掛ける。
- 心のやさしい子を育てる。
- いじめをなくす。
- 公園などで遊ばせる。

【行事への参加】

- いろいろな行事に声かけをしてたくさん参加してもらおう。
- 町内会に子どもの行事を取り入れる。
- ハイキング等で地域の子どもと交流する。
- 団体行動(協調性)を教える。
- 一般住民と子どものふれあう機会を増やす。
- 地域の歴史を教える機会を持つ。
- 氏子祭に子ども神輿に参加してもらおう。

【少子化対策】

- 子どもの比率を増やしたい。
- 少子時代、地域の子どもは次代を担う宝であると考える気風を高める。

【学校教育の充実】

- 子どもに日本古来の良い言葉、文字があることをしっかり教える。外来語ばかりを教えるのは良くない。
- 学校で自転車の安全乗車を教える。
- 学校のクラブ活動(運動部)を活発にする。
- 小学校運営協議会の積極的な活用を図る。



グループ討議のまとめ

- 「自然環境」についての自主的な取組としては、まず一人ひとりが門掃きやゴミを減らす努力を行うとともに、行政においてもゴミ対策を行うべきといった「ゴミ問題」についての意見が数多くありました。
- 「子ども」については、家の中で親がまずあいさつや声かけを行って模範をしめすべきとの意見がありました。また地域全体で子どもの見守り活動をしたり、行事への参加を促すなどの取組について話し合いました。

中部南グループ – 北白川・養正・養徳・下鴨・葵・修学院・修学院第二

ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然環境

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【ゴミ】

- 門掃きをする。
- 個々人がゴミを減らし、街中のゴミの散乱をなくす。

【行政参加】

- ボランティア活動の清掃、活動の呼び起こしをする。
- 学区内の大中小の公園の清掃と管理をする。
- 花壇作りの奉仕活動を拡大する。

【街路樹など】

- 街路樹の根元(隆起)で歩行しにくく、危険である。
- 落ち葉が多くて掃除するのが大変である。高齢化もあり、周辺の人が困っている。
- 広告物を点検する。  
→自然を守る基本的知識を周知する。

【水(泉川, 高野川, 鴨川)】

- 掃除をする。
- 河川への不法投棄を防ぐ。(プラスチック, 自転車など)

【その他】

- 桜が古木になってきているので、次代の植樹を考える。
- 車歩道を整備する。

ワークシート

分野:

ひとにやさしい温もりのあるまちづくり

項目:

高齢者

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【自転車】

- 自転車を放置しない。
- 自転車の運転マナーの向上を図る。(高齢者, 歩道を守る)

【見守り】

- 各町の町内会長が見廻る。
- 地域見守り隊に対し、補助、助成金を増やす。
- 活動開始に感謝しているが、子ども見守り隊が不要となるくらい安全なまちづくりが望ましい。

【交通】

- 放置自転車の取り締まりをする。
- 高齢者の事故が多いので、自転車専用道を整備する。
- 歩道のでこぼこが多いのでバリアフリーに改修する。
- 幹線道路及び裏道の舗装が不十分である。無駄のない工事をするべきである。
- 夜道でも安心して歩けるような道、でこぼこのない歩きやすい道を整備する。

【声かけ】

- 声かけをする。
- 隣の高齢者には声かけをする。
- 近隣での会話を増やすように心がける。
- 近所の皆さんの情報は役所に頼らない。

- 市協、社協、少補、民生委、警察等が独居老人等の情報を共有する。
- 近隣の呼び掛けで訪問する。
- 訪問等にかかるルール化をする。
- 夜間に門の灯りをつけることを町内で促進する。

【学区の行事への参加】

- 町内単位で参加する。
- 元気な者が誘って一緒に参加の手助けをする。

グループ討議のまとめ

- 「自然環境」については、個人でできる門掃きやボランティアでの清掃活動を行うとの意見がありました。ただ、高齢化が進んでいる中、街路樹などの落ち葉の清掃に非常に苦労しており、行政でなんとかしてほしいとの意見もありました。
- 「高齢者」については、自転車の放置や運転マナーを改善し高齢者を守ることや、町内での見守りをすべきとの意見がありました。また、近所の皆さんとの情報交換や声かけなどは、役所に頼らずに住民主体で行うべきとの意見がありました。



中部北グループ – 上高野・松ヶ崎・岩倉北・岩倉明德・岩倉南

ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然環境

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【高齢者】

- 高齢者等で街中の清掃をしたい。

【町内会】

- 神社の中を町内会で清掃する

【子ども】

- 子どもが自然（山など）に親しむ。

【清掃】

- 街路樹の下を清掃する。
- 散乱ゴミを清掃する。（道路、河川、公園）

【川の整備・清掃】

- 川の上流で物を捨てないように心掛ける。
- 各種団体と共同で河川の清掃をする。
- 岩倉川の整備をする。

【地域全体の取組】

- 地域で多くの人たちで参加してゴミ拾いをして、ゴミを減らす。
- 放置自転車の撤去、整理を行う。

【地域と行政の取組】

- ゴミの出し方のモラルを守る。
- クリーン大作戦を実施する。

【山の整備】

- 落ち葉の始末をする。
- 山林、林道の整備をする。
- 山の木を整備する。

ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

歩きやすいまち

一人ひとり

協働（区民と行政・事業者・大学等）

【マナー】

【歩道の整備】

- 歩道へ店舗の看板を出さない。
- 違反広告をなくす。
- 公道に物を置かない。
- ゴミ出しのマナーを守る。

【大学、高校、中学】

- 学校と地域の連携を図る。
- 学生への啓発を行う。

【自転車】

- 歩道上の走行は危険であることを啓発する。
- 無灯火自転車による危険性を知らせる。

【地域でのパトロール】

- 行政との連携を進める。
- 地域でのパトロールを実施する。
- 落書きの発見に努める。

【道路の整備】

- 道路のでこぼこをなくす。
- 電柱の利用法を考える。
- 歩道上の電柱をなくす。



グループ討議のまとめ

- 「自然環境」については、四季折々美しい地域で申し分ないとの意見がある一方で、最近は山の手入れが行き届かず、危険な現状であるという話もでました。また、山とともに美しい川を守ることも大切との声もありました。
- 「歩きやすいまち」については、歩道に看板を置かない、学生へのマナー啓発、自転車走行のルールを守るなど、一人ひとりのマナー向上について意見が出ました。あわせて、歩道整備や段差補修などの行政への要望事項も出されました。

北部グループ(花脊峠以南) — 八瀬・大原・静原・市原野・鞍馬

ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然環境

一人ひとり

協働(区民と行政・事業者・大学等)

【自然を大切にすゝる気持ち】

- 自然の美しさを保つ。
- 自然に手をつけない。

【ゴミの清掃, 見廻り】

- 掃除をする。
- ゴミの不法投棄をなくす。
- 河川の美化を進める。
- 自然の監視員, 巡回員として見廻り活動をする。

【環境保全】

- 環境保全を住民の協力でを行う。
- 自然環境を育成する。
- 道路にはみ出た樹木を伐採する。
- 山林の保存を進める。
- 乱開発を防止する。

【ゴミを捨てない, 清掃】

- 道路や川にゴミを放置しない。
- 道路の落ち葉等のゴミを清掃する。

【獣害対策】

- 有害鳥獣(サルやシカなど)の対策を進める。

【観光としての自然整備】

- 道路を整備する。
- 散策路(生活, 観光)を整備する。

ワークシート

分野:

歴史・文化・学問のまちづくり

項目:

伝統行事・伝統文化

一人ひとり

協働(区民と行政・事業者・大学等)

【伝統行事を伝える】

- 行事を伝える。
- 地域の文化の保存に対する心を伝える。

【協力】

- 学校と地域の連携を進める。
- 継承の意味を深める
- 地域の協調性を高める。
- 昔からの住民と協力する。

【後継者育成】

- 保存のための指導者を育成する。
- 後継者の育成に努める。
- 伝承の形態を見直す。
- 組織を変えていく。
- 覚えやすいよう, 簡単にできるように工夫する。
- 盆踊りの良さを伝える。
- 地元住民がまず参加する。
- 存在を知らせる。

【PRする】

- 国宝級の阿弥陀仏があることをPRする。
- 伝統行事の宣伝活動を行う。
- どういふ文化財があるか, 住民, 子どもがまず知る。
- お子さん, 親に協力してもらう。
- 若い人に対して伝統芸能, 文化の説明をする。
- 伝統行事の魅力, 良さを伝える。
- 伝統芸能について意識の改革を図る。

【資金】

- 行政の援助を求める。
- 区, 市が地域に補助金, 助成金を出す。

【子どもたちに知ってもらおう】

- 歴史文化の教育をする。
- 学校で教育指導をする。

グループ討議のまとめ

- 「自然環境」については, まずは一人ひとりが自然を守る気持ちを持つことが大事であるとの意見がありました。また, 地域で年2回クリーン作戦に取り組んでおり, 行政にも協力してもらっているとの報告がありました。
- 「伝統行事・伝統文化」については, 各地域で熱心に取り組んでいるが, 今後更なるPRのために各種団体と協力するとともに, 後継者の育成に向けて, 子どもに行事を知ってもらうための取組を進めるべきとの意見が出されました。



## 北部グループ(花脊峠以北) — 花脊・別所・広河原・久多

### ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然環境

一人ひとり

協働(区民と行政・事業者・大学等)

#### 【山林整備】

- 木材の需要を増やす。
- 山の資源を文化に生かす。

- 人工林中心施策から多様な森林資源が活かされる方向に変える。
- 人工林が増えすぎたので、広葉樹林化を食い止める。
- 山林を整備する。
- 山林の手入れをする。  
→シカ等の害が軽減する。
- ナラ枯れの被害への対応をする。

#### 【不在者の土地をどうするか】

- 不在者の資産、土地の解決を進める。
- 不在地主の解消を図る。

#### 【河川の水質】

- 河川の水質を良くするために、林道や工事のやり方を変える。
- 清流を守る。

#### 【有害鳥獣】

- 田畑のシカ、イノシシ被害について府、市が補助を出す。
- シカ肉を活用する。
- 有害鳥獣の取組を進める。

- 自然アピールする。
- 農業体験を実施する。
- 学校跡地を自然体験施設にする。
- 新しい学校を活用する。
- 市内校との交流を図る。
- 市内に必要な資源を山に求める。

#### 【市内との交流】

- 多様な山の資源を生業に生かす。  
↓
- 若い人の働く場を作る。

### ワークシート

分野:

美しい自然のまちづくり

項目:

自然との調和

一人ひとり

協働(区民と行政・事業者・大学等)

#### 【持続的な取組】

- 地域をつないでいく人を育成する。
- 北部地域の一体化を図る。
- 交流を進める。

#### 【農地を生かす仕組みづくり】

- 農地が活かされる仕組みをつくる。
- 田畑の宅地化を可能にする。

#### 【身近な生活基盤整備を】

- 林道よりも身近な生活基盤を優先する。
- トンネル整備を行う。
- 久多と花脊をトンネルで結ぶ。
- 道路の基盤整備を進める。
- 交通利便性の向上を図る。

#### 【学校】

- 学校との連携を図る。

#### 【都心部からの人の流れ】

- 新しい人を呼び込む。

### グループ討議のまとめ

- 「自然環境」については、山林の整備を進めるとともに、多様な森林資源を生かすことが必要との意見がありました。さらに、山の資源を生活に生かすため、北部地域と市街地の交流を進める取組について意見交換を行いました。
- 「自然との調和」については、北部地域を今後守っていくためには、人材を育成し、都心部から人を呼び込む取組が必要との意見がありました。また、行政に対して、道路整備を進めてほしいといった要望が出されました。

